

「中学生の主張 in かながわ」作文 下書きワークシート

一 テーマ

○ 作文のテーマは自由です。家庭や学校、地域での日常の出来事、社会や世界の話題、心に残っている言葉などについて考えてみましょう。

二 最も伝えたいこと

○ 中学生の「主張」のコンクールなので、あなたの意見が一番大切。作文を通して、希望や提案を示しましょう。

三 材料

○ 関連する話題をできるだけ取りたくさん集めます。他者の事例や意見、過去の気持ち、あるいは調べたことなど、テーマについていろいろな立場から見つめてみましょう。

#### 四 下書き①（作文の流れ）

○「三」の材料を四〜五つ程度選択し、「二」の伝えたいことに繋がっていく流れを作ります。材料を入れ替えながら、効果的な展開を考えましょう。

はじめ	なか①	なか②	おわり
印象的な書き 出しで、読み たい＆聞きた い作文に。	テーマにつ いて流れを展 開していきま す。	「なか①」とは 異なる材料で 広げます。 この話題選 びが個性にな りますが「お わりに繋がる ことも大切で す。	「二」のまと めをゴールに し、ゴールに 近づいてい く。

※ はじめ↓なか↓おわりの展開を維持しつつ、「なか」の話題の数は増やしても構いません。

また、「なか②」の内容次第では「起↓承↓転↓結」の構成にも。わかりやすく工夫してみましょう。

#### 五 下書き②（展開の確認）

○ はじめ、なか①、なか②を、それぞれ二百字程度で文章にしてみます。

このとき、展開に応じて「しかし」などの接続詞を意識するとよいでしょう。

#### 六 下書き③（推敲）

○ 「五」を修正したりふくらませたりして、実際の字数を目指して書き上げます。

形式段落は少なくとも四段落で、読みやすくなるようなら増やしましょう。

文体が変わってしまわないように、なるべく一気に書いていきます。

○ 書き上げたら音読してみて、長すぎる文や不自然な箇所を整えます。


この段階で誰かにチェックしてもらってもいいですね。

#### 七 清書

○ 表現や比喻の工夫も加え、いよいよ清書です。

#### 八 題名付け

○ 題名を付けます。力尽きず、こだわりきって完成です！



**メモ** ...

「走れメロス」の著者、太宰治は、小説を書く際に題名、書き出し、結末を重視していました。清書の前には暗唱できていたほど、推敲に力を入れていたのだとか。

作文も同じく、題名、書き出し、結末にこだわって、声に出すことで磨かれていきますよ。